

東郷小学校 ～能勢高校との連携～ 『ブドウ栽培』 5年生

テーマ:1年間を通してブドウの観察をしよう

第1回 6月11日 《ブドウの芽吹きを観察》

- 1年間を通して行うブドウの観察や作業の予定についての説明を聞く
- ブドウの芽吹きの様子を観察
- 農場の見学
- ブドウの花から実が大きくなっていく様子や世話について説明を聞く
- 実や葉っぱのスケッチ

- ・ ブドウの花があんなに小さいとは、知らなかった。
- ・ ブドウの花が見られてよかった。
- ・ ブドウの絵を上手に描けたと思います。
- ・ 木いちごはすっぱかったです。
- ・ 孔雀、ウサギ、イモリの赤ちゃんなどを見ました。



第2回 6月25日 《ブドウの房への袋がけ》



- ブドウの実の成長の様子を観察
- ブドウの房への袋がけ

- ・ ふくろをうまくかけられた。
- ・ 木のうらがわにもふくろをかけなくてはいけないのがむずかしかった。
- ・ 10何個もふくろをかけていくうちに、早くできるようになった。
- ・ だんだん針金でくくるのが上手になってきた。
- ・ たった2週間で、ブドウの実がこんなに大きくなったのにはびっくりした。

第3回 10月15日 《1年間、観察を続けてきたブドウの収穫》

- 1年間観察を続けてきたブドウの成長の様子のもまとめ
- 実ったブドウの実の収穫
- 房の重さや糖度などを測定

- ・ おいしいブドウができて、うれしかった。
- ・ 糖度計で甘さを計ったのがおもしろかった。
- ・ ブドウがとれるまでに、たくさんの作業があることが分かった。
- ・ ブドウの実のどれが（どのあたりの実が）甘いかのクイズをしたのがおもしろかった。
- ・ ずっとブドウの観察ができてよかった。
- ・ 前にふくろをかけにきたときには、小さくて、黄緑だったけど、今日は、大きくてむらさきになっていた。味も、おいしくてあまかった。
- ・ 種までオイルになっているということを知った。あまさはかる機械があるとは知らなかった。計ってみると、私のとったぶどうのふさは、22だった。「18以上だとい」と言っていた。
- ・ 思っていたより、実が大きかった。あまさを計るのがあるとは思わなかった。ぼくのとったぶどうは、21だった。18以上は、あまいと言っていたので、おいしかったです。
- ・ ぶどうは、重くてとてもすごいなあと思った。前の時より、すごく大きくなっていた。色も黄緑からむらさき色になっていた。くきの色も緑から茶色っぽくなっていた。
- ・ ぶどうは、干しぶどうやワイン（皮のついたまま作ったのが、赤ワイン。皮をとって作ったものが白ワイン。）や種をつぶしてオイルになるとわかりました。



《指導者より》

予想以上に大きな房が収穫できた。

持ち帰ったブドウは、おいしく頂いた。ブドウ作りの大変さと収穫の喜びを味わうことができた。収穫の喜びが農業を支えていると感じる体験だった。